



## ファイアウォール情報

この章は、次の項で構成されています。

- [ファイアウォール情報 \(1 ページ\)](#)

## ファイアウォール情報

次の表は、Cisco コンテンツセキュリティアプライアンスを正常に動作させるために開けなければならないことがあるポートのリストです（デフォルト値を示す）。

表 1: ファイアウォール ポート

デフォルト ポート	プロトコル	内外 (In/Out)	ホストネーム	目的
20/21	TCP	In または Out	AsyncOS IP、FTP サーバ	ログ ファイルのアグリゲーション用 FTP。  データ ポート TCP 1024 以上はすべて開いている必要があります。  詳細については、ナレッジベースの FTP ポート情報を検索してください。 <a href="#">ナレッジベース</a> を参照してください。
22	TCP	入力	AsyncOS IP	CLI への SSH アクセス、ログ ファイルのアグリゲーション。
22	[TCP]	発信 (Out)	SSH サーバ	ログ ファイルの SSH アグリゲーション。

22	[TCP]	発信 (Out)	SCP サーバ	ログ サーバへの SCP 配信。
25	[TCP]	発信 (Out)	任意 (Any)	電子メール送信用 SMTP。
25	TCP	入力	AsyncOS IP	バウンスされた電子メールを受信する SMTP または外部のファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合。
53	UDP/TCP	発信 (Out)	DNS サーバ	インターネット ルート サーバまたはファイアウォール外部の DNS サーバを使用するように設定されている場合の DNS。また、SenderBase クエリの場合。
80	HTTP	入力	AsyncOS IP	システム モニタリングのための GUI への HTTP アクセス。
80	HTTP	発信 (Out)	downloads.ironport.com	McAfee 定義を除くサービス更新。
80	HTTP	発信 (Out)	updates.ironport.com	AsyncOS アップグレードおよび McAfee の定義。
80	HTTP	発信	TAXII サーバ	ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。
82	HTTP	入力	AsyncOS IP	スパム隔離の表示に使用されます。
83	HTTPS	入力	AsyncOS IP	スパム隔離の表示に使用されます。
110	[TCP]	発信 (Out)	POP サーバ	スパム隔離のためのエンドユーザの POP 認証。
123	UDP	入力および出力	NTP サーバ	タイム サーバがファイアウォールの外側にある場合の NTP。
143	[TCP]	発信 (Out)	IMAP サーバ	スパム隔離のためのエンドユーザの IMAP 認証。

161	UDP	入力	AsyncOS IP	SNMP クエリ。
162	UDP	発信 (Out)	管理ステーション	SNMP トラップ。
389 または 3268	LDAP	発信 (Out)	LDAP サーバ	LDAP ディレクトリ サーバがファイアウォールの外側にある場合の LDAP。Cisco スпам隔離のための LDAP 認証。
636 または 3269	LDAPS	発信 (Out)	LDAPS	LDAPS — ActiveDirectory のグローバル カタログ サーバ (SSL 使用)
443	TCP	入力	AsyncOS IP	システム モニタリングのための GUI への Secure HTTP (https) アクセス。
443	[TCP]	発信 (Out)	res.cisco.com	アップデート サーバの最新のファイルを確認します。
443	[TCP]	発信 (Out)	update-manifests.ironport.com	アップデート サーバから最新のファイルのリストを取得します (物理ハードウェア アプライアンスの場合)。
443	[TCP]	発信 (Out)	update-manifests.sco.cisco.com	アップデート サーバから最新のファイルのリストを取得します (仮想アプライアンスの場合)。
443	[TCP]	発信 (Out)	phonehome.senderbase.org	アウトブレイク フィルタの受信/送信。
443	[TCP]	発信 (Out)	コマンドライン インターフェイスで websecurityadvancedconfig コマンドを実行し、すべてのデフォルトを受け入れます。Web セキュリティ サービスのホスト名が表示されます。	URL フィルタリングに使用する URL レピュテーションとカテゴリの情報を取得するためのクラウド サービス。

443	[TCP]	発信 (Out)	[セキュリティサービス (Security Services)] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis)] の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation)] セクションの [クラウドサーバープール (Cloud Server Pool)] で設定されているとおりです。	設定されている場合、これはファイルレピュテーションを取得するためにクラウドサービスにアクセスするためのポートです。デフォルトポートは 32137 です。ファイル分析サービスの場合はポート 443 を参照してください。
443	[TCP]	発信 (Out)	[セキュリティサービス (Security Services)] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis)] の [ファイル分析の詳細設定 (Advanced Settings for File Analysis)] セクションで設定されているとおりです。	ファイル分析のためのクラウドサービスへのアクセス。ファイルレピュテーションサービスの場合は、ポート 443 または 32137 を参照してください。
443	TCP	入力および出力	[セキュリティサービス (Security Services)] > [ファイルレピュテーションと分析 (File Reputation and Analysis)] の [ファイルレピュテーションの詳細設定 (Advanced Settings for File Reputation)] セクションの AMP for Endpoints コンソールの統合のパラメータで設定されているとおりです。  api.amp.sourcefire.com api.eu.amp.sourcefire.com api.apjc.amp.sourcefire.com api.amp.cisco.com api.eu.amp.cisco.com api.apjc.amp.cisco.com	AMP for Endpoints コンソール サーバにアクセスします。

443	TCP	入力および出力	outlook.office365.com login.microsoftonline.com。	メールボックス自動修復のために Office 365 サービスにアクセスします。
443	[TCP]	発信 (Out)	aggregator.cisco.com	Cisco Aggregator サーバにアクセスします。
443	HTTPS	発信	logapi.ces.cisco.com	シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。
443	HTTPS	発信	TAXII サーバ	ゲートウェイで外部脅威フィードを使用できるようにします。
514	UDP/TCP	発信 (Out)	Syslog サーバ	Syslog ロギング。
628	TCP	入力および入力	AsyncOS IP	外部ファイアウォールから電子メールをインジェクトする場合の QMQP。
990	TCP/FTP	発信	support-ftp.cisco.com	シスコ TAC によって収集されたデバッグ ログをアップロードするため。
1024 以降	—	—	—	ポート 21 (FTP) に関する上記の情報を参照してください。
2222	CCS	入力および入力	AsyncOS IP	クラスタ通信サービス (中央集中管理用)。
	[TCP]	発信 (Out)	AsyncOS IP	Cisco スпам隔離。
7025	TCP	In および Out	AsyncOS IP	この機能を集中化する場合、E メールセキュリティ アプライアンスとセキュリティ管理アプライアンス間でポリシー、ウイルス、アウトブレイク隔離データを渡します。

